

平成26年度 事業計画書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月 31日

1. 奨学援助事業

(1) 奨学生数と奨学金給与額

対象	奨学金月額(円)	奨学生数(名) (*1)	奨学金総額 予測 (*2)
国内奨学生	上限 200,000	13	30,000,000
留学奨学生	上限 300,000	5	15,000,000
合 計		18	45,000,000

(*1) 新奨学生選考結果、部門別の奨学生数については、添付資料1をご参照ください。

(*2) 支給金額が一律でないため、奨学金総額＝奨学生数×月額×12カ月とはなりません。

(2) 奨学金支出予算額

奨学金給与予測	45,000,000 円
特別奨学金 *コンサート出演料、等	2,100,000 円
振込手数料	900,000 円
合 計	48,000,000 円

(3) 今後の奨学生採用計画

今後5カ年における、奨学生採用計画および奨学金支給計画を策定。

(4) その他の事業計画

①奨学金援助事業

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)の協力を得て、複数の競技団体から推薦された選手に対する奨学金の支給。(奨学金支給対象者と同様の選考を行う)

②卒業入学祝賀会(7月13日(日) 於:G8)

奨学生OB・OG、理事、評議員、選考委員、関係者が一年に一度あつまり、親交を深める。また、財団の1年の活動や、今後の方針等を共有する場としても活用。企画については、現在検討中。

③成果発表音楽会の開催

選考会も兼ねた、奨学生の成果発表会を開催する。(12月27日(土)紀尾井ホール)国際コンクール等で優勝または上位入賞者が出た場合は、凱旋コンサートを開催する予定。

④成果発表展示会・音楽会の開催

クリエイティブ部門、音楽系の奨学生および卒業生の成果発表の場の提供。

⑤機関誌の発行とリニューアル

機関誌「軽気球」の発行。合わせてデジタル化の検討も進める。現役奨学生および国内外のOBOGからのメッセージを掲載し、全奨学生・財団関係者に配布する。

⑥ホームページの活用拡大とSNSの有効活用

昨年OPLしたホームページの充実と拡大。奨学生の活躍を動画等も含め、積極的に掲載していく。SNSを活用し、奨学生・卒業生のコミュニケーションの場の提供を目指す。

(5) 奨学金を受ける者への指導等

①レポート

奨学金受給者から毎月レポートを提出による報告を受ける。

②連絡報「事務局便り」

現役奨学生全体への事務連絡、指示、指導事項等はこの連絡報を通して行う。

以 上